

令和5年度 第2回 大阪市立南大江小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立南大江小学校
校園長名 植田 隆義

日 時	令和5年11月29日 (水)	
場 所	南大江小学校 第2多目的室	
出席者	委員など	会長・委員等 計9名
	校園	校長・副校長・教頭
	区役所	市民協働課係長
議題	(1) 令和5年度「運営に関する計画」中間評価について (2) 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について (3) 年間行事予定について	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○不登校児童の不登校となる原因はいじめや学校での人間関係など様々であるが、最近では原因がはっきりしないケースもある。昔は親が無理やりにでも登校させていたが、今は本人の気持ちや考えを尊重することも大切な支援となってきている。 ○小学校に限らず不登校の児童生徒が増えている。そうした中で子どもと先生が向き合う時間をしっかりとつけていただいていることは良いことだ。 ○ICT化が進み新たな作業や業務も増えているが、ICTは確実に学校の中の業務の省力化や効率化につながっている。 ○働き方改革が進められているが、業務時間外であるPTAの活動にも先生方が参加していただいているのは学校と地域のつながりを充実していくうえで非常にありがたい。 ○総じて評価が控えめだと感じる。説明を聞く中で十分に達成できていると思われるものもたくさんある。学校運営は良好に行われていると思われる。
	(2)	○学習活動では、一つ一つの活動や学習内容に対して目標を定め、子どもたち一人ひとりに対して個別の支援をしていくことが大切だ。 ○考える力の向上と(問題や課題に向き合う時間は比例する。学校や家庭ではどうしても効率や効果をもとめて学習に向かわせているが、じっくり時間をかけて考えるような活動・学習も必要と考える。 ○学校教育の中では力を伸ばすための「種」

	(3) 令和5年度後期の年間行事予定について説明を行い了承をいただいた。	をたくさんまいていただいている。 ○PTA としても学校の教育活動を盛り上げていきたいと考える。 ○児童数が増えている状況があり、子どもたちがしっかりと運動し演技できるようなかたちでの運動会の実施を望みます。
協議資料	① 令和5年度「運営に関する計画」中間評価 ② 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 分析から見えてきた成果・課題と今後の取り組みについて	
備考	傍聴者[0]名	